

パルスジェネレータ

概要

パルスジェネレータ（回転センサ）は、トランスミッションギアの回転を検出し、トランスミッション制御に使用します。

特長

当社は、世界に先駆けGMR式回転センサを開発・量産化し、優れた耐久性と高精度検出を実現しました。

またHall効果素子を利用した、Hall式回転センサは優れた耐久性と回転検出性を実現しました。

（GMR式回転センサ）

- ・高信頼性：自社独自技術に基づく高耐熱素子を開発・内製し、高い耐環境性を実現
- ・高性能：素子の高感度・高出力を活かし、角度位置検出精度及び繰り返し検出性の向上を実現

（Hall式回転センサ）

- ・高信頼性：接続部低減による高信頼性実現
- ・高性能：ホール効果による正確な回転検出性を実現



パルスジェネレータ（GMRタイプ）




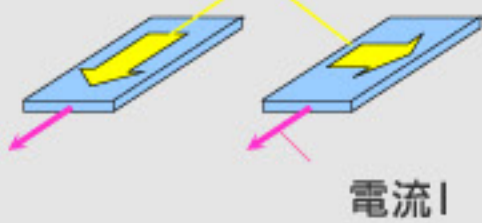
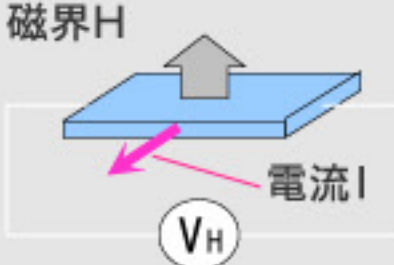
パルスジェネレータ（Hallタイプ）

パルスジェネレータ

性能



■素子ベンチマーク

センシング素子	GMR	AMR	ホール
素子構造	 反平行:Rmax 平行:Rmin	 磁化M (磁界H) 電流I M//I Rmax M⊥I Rmin	 磁界H 電流I V _H
抵抗変化率	○ 30%	△ 2~3%	[○ ∞]
素子感度	○ 2 mV/V/G	○ 2 mV/V/G	× 10 μV/V/G
素子温度特性	○ -1000 ppm/°C	△ -3500 ppm/°C	△ -5000 ppm/°C
素子耐熱性	○	○	△

GMR : Giant Magneto-Resistance
 AMR : Anisotropic Magneto-Resistance